

# 校長室だより

10月号②

すこし肌寒く感じるようになりました。校門の桜は葉が落ち、その代わりに学校のまわりのコスモスの花がつぎつぎと咲き始め、キンモクセイのいいにおいがし始めました。何をするのも気持ちのいい季節です。10月になって、子どもたちは、季節の移り変わりを五感で感じながら、学習、スポーツにいっしょうけんめい取り組んでいます。

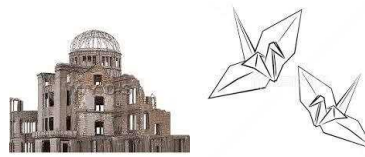
## 市小学校陸上運動記録会



10月17日（木）に、吉野川市小学校陸上運動記録会が、鳴門の大塚ポカリスエットスタジアムで開催され、本校からは5・6年の23名が参加しました。夏休みからこの大会をめざして、4年生を含め40名をこえる仲間とずっと練習をしてきました。目標をもってがんばることが子どもたちの力となります。結果となって現れる記録も大切ですが、それ以上に目標に向けてがんばる過程が大切だと、子どもたちには伝えました。大会当日も、子どもたちは自己記録更新をめざしてがんばりました。そして、スタジアムに対して感謝の気持ちをこめた大きなあいさつも、とても印象的でした。



## みんなの思いを広島へ



恒例となった6年生の広島での平和学習。今年は、10月21日（月）に実施しました。毎年、平和記念公園の「原爆の子の像」に千羽鶴をおさめています。今年も、全校児童に呼びかけて鶴をおりました。朝会で、6年生が折り鶴にこめられた思いについて紹介しました。折り鶴は折り方がむずかしく大変でしたが、6年生が中心となりみんなががんばって千羽鶴が5本できあがりしました。保護者のみなさんも、ご協力ありがとうございました。「世界が平和になるように」「二度と原爆が使われないように」というみんなの思いや願いを広島に届けてきました。

西麻植小学校の正門横に、先輩が立てた看板があります。そこにはこう書かれています。

**「『すべての人が、幸せな世界』  
わたしたちは広島で学んだことを忘れない」**